

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

福岡県

第1 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

1 本県の産業政策の方向性

グローバル化が進む中、内外の地域間競争を勝ち抜き、県民の雇用と所得を維持することが重要である。

このため、地域中小企業やベンチャー企業に対する支援など「ベンチャー・中小企業の育成」、大学の頭脳資源を産業化に活かし、先導的な技術及び産業の集積を図るため、産学官の連携による「次世代成長産業の育成・集積促進」、そして本県とアジアとの経済的・地理的接近性を活かし、アジアとの協力・分業の中で本県の発展を目指す「アジア戦略・観光の振興」を柱として産業政策を実施する。

2 中小企業の育成

本県において、中小企業は企業数総数の99.8%を、従業員数では7割強を占めるなど本県経済活力の源泉であり、また今後の発展を牽引する原動力でもあることから、地域の実情を踏まえた独自の施策により中小企業対策を強化することが重要である。

具体的には、中小企業に不足している資金、技術、人材などの経営基盤の強化に向けた多面的な支援を行い、1社でも多くの独自の技術・ノウハウを持った中小企業を育成するとともに、地場産業の振興や商店街活性化等を推進する。

3 地域産業資源活用事業の促進の意義及び方針

本県には、伝統や文化に根ざした地域の産品、観光資源など多数の地域産業資源が存在している。中小企業等は、その独自の創意と工夫でこの地域産業資源を新事業展開の核として活用することで、商品の差別化や高付加価値化を図り、全国、さらには海外における事業展開が可能となる。

また、地域資源を活用する取組は、県内の他の企業や地域に刺激を与え、相乗的な効果を生じ、地域経済の活性化に大きな効果をもたらすことが期待できる。

本県では、これまで地場産業の振興や、商工会議所等が取り組んでいる地域活性化事業を支援してきたが、今後も県の各種施策と、国が実施する「地域産業資源活用プログラム」の各事業を有効に活用しながら、下記のような地域産業資源を用いた地場産業の新たな展開、さらには地域活性化のための商工会議所等と市町村や中小企業等とが連携した取組を支援する。

第2 地域産業資源の内容

前記の方針に基づき、本県としては、産品・産地の技術、農林水産物、観光資源で相当程度

認識されており、それらを用いて新事業展開、地域資源の商品化などの事業の成功可能性が高いものを次のとおり指定する。

1 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
大川木工製品	久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、みやま市、大木町、広川町
博多織	福岡市、久留米市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、前原市、福津市、朝倉市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、粕屋町、筑前町、二丈町
久留米緋	久留米市、八女市、筑後市、大川市、うきは市、大木町、広川町
い草製品	筑後市、柳川市、大川市、みやま市、大木町
小石原焼	東峰村
上野焼	福智町
うきはの麺	久留米市、うきは市
追い出し猫	宮若市
木うそ	太宰府市
きじ車	みやま市
小倉織	北九州市
ゴム製品	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、うきは市、朝倉市、みやま市
さげもん	柳川市
城島瓦	久留米市
高取焼	直方市
高菜漬	八女市、柳川市、みやま市
七夕鍋	小郡市
筑後うどん	久留米市、柳川市、八女市、筑後市、小郡市、朝倉市、筑前町、東峰村
ぬか床料理（じんだ煮）	北九州市
博多うどん	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、前原市、那珂川町
博多辛子めんたいこ	県内全域
博多人形	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、前原市、那珂川町、粕屋町、志摩町
博多ラーメン	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、前原市、那珂川町
福岡の焼酎	県内全域
福岡の清酒	県内全域
福岡のり	大牟田市、柳川市、大川市、みやま市
宮地獄の松ヶ枝餅	福津市
焼うどん	北九州市
八女石灯籠	八女市、黒木町
八女竹細工	八女市、広川町
八女茶	八女市、筑後市、黒木町、立花町、広川町、矢部村、星野

	村
八女提灯	八女市、柳川市、筑後市、みやま市、広川町、立花町
八女福島仏壇	八女市、筑後市、みやま市、黒木町、広川町、立花町、矢部村、星野村
八女矢	久留米市、八女市、筑後市、みやま市
八女和紙	八女市、筑後市
籃胎漆器	久留米市

2 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
秋月城址及び秋月伝統的建造物群	朝倉市
岩戸山古墳及び八女古墳群	久留米市、八女市、筑後市、立花町、広川町
うきは市の白壁土蔵作りの町並み	うきは市
宇美八幡宮	宇美町
エツの生息地	久留米市、大川市、柳川市、筑後市、大木町
追い出し猫	宮若市
王塚古墳・王塚装飾古墳館	桂川町
大川市立清力美術館	大川市
大川木工製品	久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、みやま市、大木町、広川町
大牟田の炭鉱遺産	大牟田市
嘉穂劇場	飯塚市
関門海峡・門司港レトロ	北九州市
北野天満宮・コスモス街道	久留米市
久留米餅	久留米市、八女市、筑後市、大川市、うきは市、大木町、広川町
玄海・大島地域における宗像大社を中心とした歴史遺産	宗像市
源じいの森	赤村
古賀政男記念館・生家	大川市
小保・榎津伝統的町並み	大川市
篠栗四国霊場八十八ヶ所	篠栗町
さげもん	柳川市
三連水車	朝倉市
上陽の石橋群	八女市
白糸の滝	前原市
深翠居（旧蔵内邸）	築上町
水郷柳川	柳川市
杣の里	矢部村
大蛇山まつり	大牟田市
竹の棚田	東峰村
太宰府の歴史文化遺産	太宰府市
筑後川	久留米市、柳川市、大川市、うきは市、朝倉市
筑後川温泉	うきは市
筑後川昇開橋	大川市

筑豊地域の炭鉱文化遺産	直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町、赤村
綱敷天満宮	築上町
長崎街道筑前六宿	北九州市、直方市、飯塚市、筑紫野市、宮若市、小竹町、桂川町
奴国の遺跡群	春日市
梅園（夢たちばな観梅会）	立花町
博多織	福岡市、小郡市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、前原市、朝倉市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、粕屋町、筑前町、二丈町
原鶴温泉	朝倉市
英彦山	添田町
平尾台	北九州市、行橋市、苅田町、みやこ町
平原遺跡	前原市
広内・上原地区棚田	星野村
福岡市民の祭り 博多どんたく港まつり	福岡市
藤江氏魚楽園	川崎町
二日市温泉	筑紫野市
船小屋温泉	筑後市
星の文化館・茶の文化館	星野村
耳納北麓	久留米市
薬王寺温泉	古賀市
八女福島町の町並み	八女市
脇田温泉	宮若市

3 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
い草	筑後市、柳川市、大川市、みやま市、大木町
いちご（あまおう）	県内全域
いちじく	北九州市、直方市、飯塚市、田川市、行橋市、宗像市、宮若市、嘉麻市、岡垣町、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町
いちじく	久留米市、柳川市、大川市、大木町
梅	立花町
エツ	久留米市、大川市、柳川市、筑後市、大木町
合馬たけのこ	北九州市
柿	久留米市、うきは市、朝倉市
キウイ	立花町
県産大豆（フクユタカ）	県内全域
黒松	久留米市
小倉牛	北九州市
筑豊特殊卵	直方市、飯塚市、嘉麻市、宮若市、鞍手町
ツバキ	久留米市

トルコギキョウ	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町
はかた一番どり	大牟田市、久留米市、八女市、うきは市、みやま市
はかた一番どり	飯塚市、田川市、小竹町
はかた地どり	県内全域
はと麦	久留米市
びわ	岡垣町
豊前海一粒かき	北九州市、行橋市、豊前市、苅田町、築上町
ぶどう	大牟田市、久留米市、八女市、筑後市、うきは市、みやま市、広川町、黒木町
ぶどう	直方市、宮若市、鞍手町、福智町
みかん	大牟田市、八女市、筑後市、みやま市、立花町、黒木町
水巻でかにんにく	水巻町
八女地域の竹・たけのこ	大牟田市、八女市、みやま市、立花町、黒木町、広川町
八女電照菊	八女市、筑後市、黒木町、立花町、広川町、矢部村、星野村
洋ラン	小郡市

第3 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

1 個別地域産業資源に関する施策

(1) 地場産業の新事業展開の促進

本県には、日本一の生産高を誇る大川家具や博多織、久留米餅、小石原焼、い草製品など伝統や文化に根ざした特色ある大規模な地場産業の集積がある。

しかし、地域社会と共に発展し、地域の歴史や伝統文化に根ざして形成されてきた地場産業は、消費者のライフスタイルの変化やニーズの多様化などにより、長期的不況から脱却できず、従来にない変革が今求められている。

このため、産地全体を牽引する有力企業群の形成を目指してブランド力強化への取組を支援するなど、製品の魅力や価値を高め全国や海外市場で販路の開拓に取り組む等の新たな事業展開を図り、これら主要地場産業の活性化を推進する。

■ 本県を代表する大川家具、博多織、久留米餅の支援方策

① 地域ブランド戦略の推進役となる人材の育成

地場産業活性化の手法としてブランド戦略を強力に推進するため、産地における新しい企業経営、商品開発、販売戦略に挑戦できる人材を育成することが重要である。このため大川家具では、「大川インテリア塾」を、博多織では、「博多織デベロップメントカレッジ」を設け、ブランド化の中核となる人材の育成を図っていく。

② ブランド戦略のための商品開発、販路拡大の推進

ブランド戦略を実践する企業が、産地の先駆者として後発企業を牽引するためにも、売れる商品作りを目指し、全国及び海外市場での取引拡大を促進することが重要である。

このため、大川家具では、都市型高級家具である「SAJICA」ブランドの開発、博多織では、洋風小物やアパレル、インテリア等の「HAKATA JAPAN」ブランドの開発、久留米絨では、新感覚着物や若者向けカジュアル、洋風小物等の「新風久留米絨」ブランドの開発に取り組み、これら商品の全国的さらには海外での販路拡大に努めていく。

(2) 商工会議所等の地域活性化に向けた取組を支援

商工会議所、商工会は地域を単位とする唯一の経済団体であり、地域特産品の育成やブランド化、観光ルートの開発など地域活性化のための主体として取り組んでいる。

今後も地域の実情を熟知した商工会議所・商工会が市町村や地域関係機関等と一丸となって地域産業資源を活用した取組を推進していくことが重要である。

このため県としては商工会議所・商工会が地域において市町村などと連携しながら実施している様々な地域活性化の取組において十分に指導力が発揮できるよう支援する。

(3) 関連分野別の振興策

ア 観光の振興

(ア) 県内観光の振興

観光振興においては、地域自らが創意工夫により、観光地づくりに取り組むことが重要なため、県では、新たな観光資源の開発や観光地づくり、観光客誘致に熱心に取り組む地域に対し、ソフト、ハード両面から支援している。

今後、九州観光推進機構とも連携し、九州を訪れた観光客を福岡県に滞在させ周遊させるための施策を推進する。

(イ) 九州観光戦略推進事業

官民で構成する「九州地域戦略会議」において、「九州観光戦略」を策定した。この戦略の実行組織である「九州観光推進機構」を中心に民間事業者、観光関連団体、地域住民などの多様な力を結集し、地域の総合力を高め、九州観光の振興を図ることにより、本県の観光も一体的に振興する。

イ 農業の振興

(ア) 競争力ある産地の育成

厳しさを増す国内外の産地間競争に本県農業が打ち勝つためには、経営能力に優れた農業者と競争力ある産地の育成が必要である。このため、自らの責任で経営戦略を実践する力を持った人材を育成するとともに、ブランド化や知的財産戦略の推進を通じて本県の農業の優位性を確立する。

(イ) 「地域、環境」との共生

農の恵みを県民が今後とも長く享受できるように環境に優しい農業や農地・水路等の農業資源の保全を推進する。また、県民参加による資源保全活動や都市と農村の交流を促進する。

(ウ) 豊かな食と暮らしを目指した取組の推進

本県農業の発展のためには、生産者と消費者の信頼関係を構築することが重要である。このため、食育や食の安全・安心などの取組を通じて、県民の食に対する理解を深め、健全で豊かな食生活の実現を促進する。

ウ 水産業の振興

(ア) 安全・安心な水産物の安定供給の確保

県産水産物の安全性の確保、多様な流通体制の整備、水産物に対する様々な情報の発信を行うことで、県民ニーズに応じた安全安心な水産物の安定的な供給を促進する。

(イ) 持続的利用を可能にする資源づくり

水産資源を育む漁場環境を整え増養殖の推進や資源の管理を行うことで将来にわたって水産資源の維持、増大に努める。

(ウ) 人材育成と組織の強化

意欲ある漁業者や新規漁業者確保を図るとともに高齢漁業者や助成漁業者への活動支援を行うことで、地域水産業を担う意欲ある漁業者を育成する。また漁協合併等により組織基盤を強化し組織の活性化を促進する。

2 関連する施策

(1) 「金融面での支援」

制度融資の活用により引き続き中小企業の資金調達の円滑化を図る。また、無担保・第三者保証人不要の「元気フクオカ資金」の利用を促進して、金融面における支援に努める。

(2) 「経営指導等」

商工会、商工会議所に配置した経営指導員等約 700 人が金融、税務、労務など日常的な問題について相談に応じる。

さらに中小企業振興センターを中核的な中小企業支援機関として位置づけ経営全般についての窓口相談に応じる。

(3) 「経営革新・企業連携の促進」

経済環境の急激な変化の中、創意工夫により経営基盤の強化を図る中小企業を支援するため、経営革新を促進する。このため、中小企業振興センターに「経営革新センター」を設置し、商工会議所及び商工会連合会に設置している 5ヶ所の「経営革新支援センター」と連携しながら、経営革新計画の策定方法から、計画の着実な実行まで一貫した指導・支援を行う。

また、中小企業が新事業を展開するためには、相互に連携し、お互いに不足する経営資源を補うことが必要なため、中小企業団体中央会を中心に企業間のネットワーク構築を促進する。

(4) 「技術支援」

福岡県工業技術センター（以下、「工業技術センター」という。）を中心とした研究開発支援や技術相談・指導、「ふくおか I S T」を中心とした産学官共同研究事業の実施などとともに、これらの機関と県内 4カ所のリサーチコア、知的所有権センター等が相互に連携しながら、より効果的な技術支援を実施する。

(5) 人材育成

ものづくり基盤技術・技能を支える人材の育成を図るため「福岡ものづくり産業振興会議」を中核として、高度技能者を生産現場に派遣するアドバイザー事業、ものづくりシンポジウム等の交流連携事業などを実施する。

(6) 「情報化支援」

中小企業振興センターが運営する電子商取引市場「電腦商社」を活用して中小企業の販路拡大を支援する。また大企業との情報面での格差を縮小し、IT導入による中小企業の経営改善を図る。

(7) 「商店街の活性化」

それぞれの地域特性、周辺住民の構成などを踏まえ、消費者に訴求力のある商店街の構築に努める。また「地域の顔」としての役割を持つ商店街の活性化をソフト、ハード両面から支援するとともに、「まちづくり」と一体となった施策も展開する。

このため、中心市街地の「にぎわい創出」に向けた戦略的な活動に対して支援

するとともに、「地域の顔」として機能してきた商店街の自助努力や創意工夫を凝らした活性化のための取り組みを促進する。

第4 本基本構想の見直し

基本構想については、中小企業等による地域資源の活用実態や、商工会・商工会議所による地域資源を用いた地域活性化の取組の実態など踏まえ必要に応じて見直しを行うこととする。